



マタニティデンタルケア

妊娠中の口内ケアが
子どもの虫歯を防ぐ!

読者の中には第2子、第3子を妊娠中のママも多いのでは。生まれてくる子どもの虫歯を予防するには、ママが妊娠中から口内のケアをしておくことが重要だ。“マタニティデンタルケア”に力を入れる『あまだ歯科医院』の天田幸路副院長にケアのポイントを聞いた。

まずはミュータンス菌の検査を

虫歯菌は唾液を介して人から人へ感染する。ママに虫歯菌があれば、生まれてくる赤ちゃんに感染する確率は非常に高い。それを防ぐため、妊娠中から歯科医院で虫歯菌の代表・ミュータンス菌の検査を受け、出産前までに菌を減らすことが望ましい。検査の方法は唾液を1cc採取するだけ。20分後に結果が出る。

「口の中の虫歯菌の活動が活発か否かを検査で知ることが第一。医院では、その活性を下げるために食生活やケアの仕方など、お口の状態に合った効果的な予防方法をアドバイスします」と天田副院長。

既に虫歯になっているママに関しては、「妊娠5〜7カ月の安定期なら治療可能です。治療に必要なレントゲンや麻酔注射も赤ちゃんへの影響はまったくありません」と天田副院長は話す。

歯周病の治療も大切

虫歯以外に、気をつけたいのは歯周病だ。

「妊娠すると女性ホルモンが増え、それを利用して歯周病菌が歯肉の炎症を進行させます。歯肉が赤く腫れたり、出血したりしたら要注意」と注意を促す。

歯周病が進行すると、早産や低体重児のリスクが7倍にもなるといわれている。なるべく早く歯科医院で治療した方がいいだろう。

妊娠2カ月の時点で、胎児には乳歯の芽ができ、3カ月には永久歯の芽ができる。ママのお腹の中で、赤ちゃんの歯もすくすくと成長している。そんな小さな歯を守るために、妊娠中のママは自分の事を後回しにせず、歯や口内のケアを欠かさず行おう。



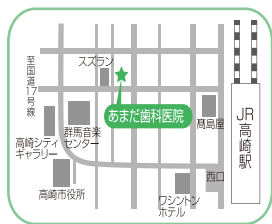
あまだ歯科医院



TEL027-328-3270

マタニティママや乳幼児のデンタルケアを応援しています!

お子さんに大人気の「歯の健康ノート」。診療の度に、お口の中の状態を記入します。歯みがき練習をしてシールを集めるスタンプラリーも実施。シールを集めればプレゼントも!!



高崎市榎町 77 (さよもーる内)

<http://www.amada-shika.com> 検索

一般歯科・小児歯科・口腔外科

診療時間

9:00 ~ 12:30 14:30 ~ 19:00 (土曜は~17:00)
水曜・日曜・祝日休 (祝日のある週は水曜診療あり)